

教 科	工業(電気電子科)	科 目	電力技術	単 位 数	3
履修学年	2学年	使用教科書	電力技術1 新訂版(実教出版(株))	履修年度	令和2年度
科目の 目標	1. 電気エネルギーを供給する発電、送電、配電などの電力供給とこれらに使用されている電力施設・設備の取り扱い、電力運用の基礎的な技術を理解し、実際に活用する能力を育てる。 2. エネルギー資源の有効利用の観点から、新しい発電方式や効率向上等について理解を深める。 3. 電力の供給に必須である電気事業法、その他の法規を理解させ、活用できる能力を育てる。				

	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③技能	④知識・理解
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 電力の発生(発電)と輸送(送配電・変電)に対して関心を持ち、学習しようという熱意や意気込みが感じられる。 学習に取り組む態度が身についており、出席状況が良好である。 	<ul style="list-style-type: none"> 発電・送電・配電などの電力供給と、電力施設・設備の取り扱い、電力運用の基礎的な技術についての考察ができる。 関連する教科の内容を活かし、発展的に思考・判断し、考え方を的確に表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験機械・器具・計測器の機能を正確に理解し、取り扱うことができる。 測定データの処理が正しくでき、結果を的確に書き表すことができる。 電力技術に関する技能の習得が出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> 電力技術に関する事象について、技術の関連性があることを理解できる。 各種の公式の意味を理解し、正確に計算ができる。 授業時の小テスト、および中間や期末等の定期考査の得点が良好である。
評価方法	授業中の態度、発言、机間巡視、ノート・小テストの提出状況等	定期考査・小テスト	授業中の態度、ノート、定期考査、小テスト	定期考査、小テスト
	上記に示した4つの観点に基づき、授業態度、提出物であるノート(整理と工夫等)と小テスト(採点と訂正等)への取り組み状況、小テストや考査の得点等を総合的に評価する。 学期毎の評価を基にして、学年末に5段階の評価として総括する。			

学期	月	時数	単 元	学 習 内 容	評 価
1 学 期	4	16	第1章 発電	1. エネルギー資源と電力 2. 水力発電	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 小テスト 小テスト等提出状況 「中間考査」
	5			3. 火力発電 4. 原子力発電 5. 新しい発電方式	
2 学 期	6	15	第2章 送電	1. 送電方式 2. 送電線路	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 小テスト 小テスト等提出状況 「中間考査」
	7				
	9			18	第3章 配電
10	21	第4章 屋内配線	1. 自家用電気設備		
3 学 期	11	20	第5章 電気に関する法規	2. 屋内配線	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 小テスト ノート等提出状況 「学年末考査」
	12			1. 電気事業法 2. その他の電気関係法規	